

日本結合組織学会において 功労賞および大高賞を受賞しました

日本結合組織学会功労賞を受賞

当社は、平成28年6月24日に長崎大学で開催された第48回日本結合組織学会学術大会において、日本結合組織学会功労賞を受賞しました。この賞は、日本結合組織学会の法人会員で本学会の発展に貢献した団体が表彰されるものです。当社の永年に亘るコラーゲンをはじめとする結合組織研究分野における実績と貢献が認められました。

当社バイオマトリックス研究所所長の服部俊治博士が代表者として稲垣学会理事長より賞状を受け取りました。今後も世界の結合組織研究に参加することで創造的な新製品の開発に取り組んでまいります。

日本結合組織学会大高賞を受賞

当社バイオマトリックス研究所研究員の多賀祐喜博士が、第48回日本結合組織学会学術大会において日本結合組織学会大高賞を受賞しました。この賞は、結合組織学会を設立した大高裕一先生の名を冠して設けられたものであり、日本結合組織学会の会員のうち結合組織研究の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、さらに将来の発展を期待しうる研究者に年間で一名だけ授与されるものです。過去の実績者には結合組織研究を支えてきた錚々たる研究者がなっています。

受賞論文は、*Journal of Biological Chemistry* 誌に掲載されたもので、幼若期において腱由来のI型コラーゲンで3-ヒドロキシプロリンhydroxyprolineの翻訳後修飾が顕著に増加することを示したものです。3-ヒドロキシプロリンは骨形成不全症や高度近視などの疾患に関与することが示唆されており、本研究成果はコラーゲンの機能解明や新たな製品開発につながる可能性のある重要な成果です。本研究は、多賀博士が自ら開発した画期的な方法で、コラーゲン代謝物の網羅的な解析法が基盤となっており、国内外の研究者から高い関心を得ております。

受賞論文： Developmental Stage-Dependent Regulation of Prolyl 3-Hydroxylation in Tendon Type I Collagen (J. Biol. Chem., (2016) 291:837-847)



▲ 服部俊治所長 功労賞授賞式



▲ 多賀祐喜研究員 大高賞受賞